

「さぼうダムありがとう」

徳島県 吉野川市立鴨島小学校 2年 かみふじ ゆきほ 上藤 幸歩

おばあちゃんのいえは山の中にあります。だから、台風がくると、おばあちゃんのところはだいじょうぶかなあと心ばいで、なきそうになります。7月16日に、台風12号がきたときも、何回もおばあちゃんにでんわをかけました。

でんわで、

「だいじょうぶ。いけるけんな。」

というおばあちゃんのかえを聞いても、やっぱり、山がくずれたりしないかなと思って、なかなかねむれませんでした。

おかあさんが小さいころは、台風で雨がたくさんふると、山からちゃ色い水がどどんながれてきて、本とうにこわかったんだよと話してくれました。いえに水が入ってこないように、みんなで土の入った大きなふくろをたくさんつんでも、よるはぜんぜんねむれなかったそうです。そして、大きな台風がすぎたあとは、山からながれてきた、とてもおもしろい土をかたづけるのに何日もかかったということです。

でも、20年前に、山にさぼうダムができてからは、山からちゃ色い水がながれてくることなくなくなったと聞いて、びっくりしました。おばあちゃんが歩いて、山の中にあるさぼうダムまでつれていってくれたことがありました。

さぼうダムは、どっしりとしていて大きな手を広げているように見えました。

わたしは、さぼうダムに、

「おばあちゃんをまもってくれてありがとう。」と言いました。そして、これからもおばあちゃんをまもってねとおねがいしました。